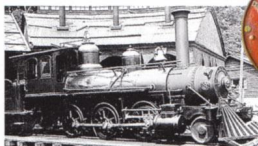


7150 (形式7150大勝号)



明治28(1895)年、北海道炭礦(たんこう)鉄道手宮工場で完成。日本製の蒸気機関車としては第2番目に誕生、現在見ることのできる最古の国産蒸気機関車。

7100形(義経号やしづか号)を手本に外国人の指導を受けず日本人の技術で製造されました。(夏期のみ)



明治時代の
大勝号

アイアンホース号



平成21(2009)年、生誕100年を迎えたアイアンホース号は、明治42(1909)年にアメリカのH.K.ポーター社で製造され、中米のグアテマラや北米で活躍したのち小樽にきました。アイアンホース号は客車を引いて構内の線路を走ります。転車台でぐるりと回る姿は必見です! (夏期のみ)

小樽市総合博物館 場内レイアウト

— 重要文化財 旧手宮鉄道施設 —



北海道鉄道開通起点標
北海道の鉄道の起点(ゼロ・マイル)を示す標柱。北海道の鉄道はこの地点から始まりました。準鉄道記念物。

《アイアンホース号》
運行ルート

手宮口

転車台

「手宮駅」のりば

屋外静態展示車両

貯水槽

1号

機関車庫

危険品庫

3号

転車台

蒸気機関車資料館

「中央駅」のりば

自動車展示館

鉄道・科学・歴史館

レストラン

手宮洞窟保存館

今から約1600年前に刻まれた壁面彫刻が残されています。国指定史跡。
入館料100円 中学生以下無料
火曜休館(冬期休館)
TEL 0134-24-1092



駐車場
(150台収容)

擁壁

北海道の鉄道の歴史はここ手宮から始まりました。
この地ならではの歴史的遺構の数々が館の内外で、静かに時を語っています。

屋外車両展示

●冬期間は屋外の車両の公開はしません



様々な鉄道車両が並びホーム

屋外展示場のホームや機関車庫に北海道で活躍した鉄道車両が並んでいます。馴染みのある鉄道車両から、普段ではあまり見られない除雪用の車両など多種多様な鉄道車両を展示しています。



マニ30形 現金輸送専用車両



キ6000形 ロータリー車



キハ82形 ディーゼル気動車

● 重要文化財旧手宮鉄道施設 (夏期のみ)

小樽市総合博物館の敷地と周辺では、国の重要文化財に指定されたレンガ造の機関車庫、転車台、貯水槽、危険品庫、擁壁などを見ることができます。

● 蒸気機関車資料館

おもに小樽築港機関区で使用されていた工具・ゲージ類と蒸気機関車の部品を展示。精密に作られた縮尺1/5の蒸気機関車もご覧いただけます。

● 自動車展示館 (夏期のみ)

ロールスロイスをはじめ、いろいろな車を展示しています。

